

リスク管理

では、ITスタッフの数を揃えれば問題ないのだろうか。それだけではなく、「関連スキル」を充足するとともに高度化を継続的に図ることが求められる。

企業におけるITの活用が業務の生産性向上から経営の高度化支援へ遷移しつつあり、ITスタッフの求められる役割も大きく変化してきてい

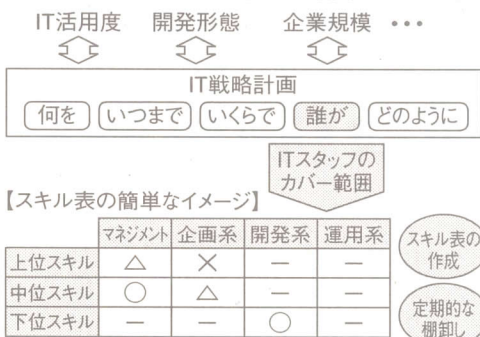
情報システム導入の際、「実現したいこと」を整理し、その後は専門家に任せればいいと考えている経営者は少なくないであろう。しかし、「実現したいこと」を正確に漏れなく整理することとは容易ではない。この品質を確保するためには、自社の「ITスタッフの充実度」を高める必要がある。

リスクマネジメント

ABC

ITスタッフの充実度

ITスタッフ管理の枠組み



【ITスタッフの充実度を高めるための施策】

- ・体系的な教育の実施
- ・キャリアパスを考慮した業務の割り当て
- ・人材を継続的に配置

「スキルの棚卸し」定期的に

る。情報システムの開発工程を企画、開発、移行、運用とした場合、全て、開発以降、運用のみを工程を情報サービス会社へ委託する等、企業によりITスタッフのカバーする範囲は異なっている。ITスタッフの「関連スキル」を明確化するために、まずIT戦略計画

を作成する。この計画を難しく考えずに、「何を」、「いつまで」、「いくらで」、「誰が」、「どのように」を決めることと理解するのが肝要である。「いくらで」までが経営戦略と一体、「誰が」以降はIT固有の計画である。「誰が」を具体化すると、前記のITスタッフのカバールする範囲を経営戦略と同期をとって明確にすることが出来る。次にこの範囲に対応するために必要となるスキルを洗い出す。この際、経済産業省策定の「情報システムユーザスキル標準(UISS)」を活用することが有効であろう。

「関連スキルを明確にしたら、次はITスタッフの既に保有しているスキルを洗い出し、スキル表にマッピングしていく。空白の箇所があれば、それは自社に不足しているスキルである。この作業は「スキルの棚卸し」といわれ、商品在庫の棚卸しと同様、定期的を実施することが必要である。「関連スキル」の不足を埋め、高度化を継続的に図り「ITスタッフの充実度」を高めるためには、中長期的な観点で教育、業務割り当て、人材確保等に取り組むことが望まれる。

日本版SOX法対応の「会社レベルのIT統制」の評価項目に、「経営者は経営目標に沿ったIT戦略計画を作成しているか?」という内容の質問が準備されているのは、このためでもある。